

おやま 市議会だより



第282号

●主な内容

正副議長、常任委員などを改選

議会役職改選……………②～③	委員会報告……………⑤～⑦
議案とその内容……………③	市政一般質問……………⑦～⑨
人事案件……………③～④	議会日誌等……………⑨～⑩
審議結果一覧……………④	表彰……………⑩
陳情……………④～⑤	次回定例会の予定……………⑩
議員提出議案……………⑤	

平成29年8月1日号



思川の流しびな（撮影者：大島玲子氏）

■ 小山市議会

編集 議会広報委員会

議会の新体制スタート

議長に小川亘議員、副議長に荒川美代子議員を選出
 平成29年第2回（6月）定例会最終日の22日に正副議長の改選があり、議長選挙が行われ、投票の結果、第36代議長に小川亘議員を選出、続いて第35代副議長に荒川美代子議員を指名推選により選出しました。その後、常任委員・議会運営委員・議会広報委員の改選、一部事務組合議会議員を選出しました。



議長 小川 亘



副議長 荒川美代子

議会運営委員会

- 委員長 福田 洋一
- 副委員長 植村 一
- 委員 苅部 勉
- 委員 橋本 守行
- 委員 青木美智子
- 委員 関 良平
- 委員 塚原 俊夫
- 委員 生井 貞夫

議会広報委員会

- 委員長 苅部 勉
- 副委員長 佐藤 忠博
- 委員 渡邊 一郎
- 委員 嶋田 積男
- 委員 荒川美代子
- 委員 小川 亘

一部事務組合議会議員

▼小山広域保健衛生組合

議会議員

- ・福田 洋一
- ・鈴木 清三
- ・安藤 良子
- ・青木美智子
- ・関 良平
- ・生井 貞夫
- ・角田 良博

総務常任委員会

◎は委員長、○は副委員長



◎小林 英恵



○高橋 栄



福田 幸平



福田 洋一



鈴木 清三



生井 貞夫



角田 良博



石島 政己

民生常任委員会



◎岡田 裕



○渡辺 一男



土方 美代



安藤 良子



大出 ハマ



小川 亘



青木美智子

教育経済常任委員会



◎橋本 守行



○渡邊 一郎



佐藤 忠博



森田 晃吉



植村 一



篠崎 佳之



山野井 孝

建設水道常任委員会



◎荒井 覚



○嶋田 積男



苅部 勉



大木 英憲



荒川美代子



関 良平



石川 正雄



塚原 俊夫



予算審査常任委員会

委員長 植村 一
副委員長 福田 幸平
委員 員

・土方 美代 ・森田 晃吉
・橋本 守行 ・岡田 裕
・荒井 覚 ・小林 英恵
・鈴木 清三 ・安藤 良子
・荒川美代子 ・山野井 孝
・青木美智子 ・関 良平
・石川 正雄 ・塚原 俊夫
・生井 貞夫 ・角田 良博

決算審査特別委員会

委員長 篠崎 佳之
副委員長 苅部 勉
委員 員

・高橋 栄 ・渡邊 一郎
・佐藤 忠博 ・渡辺 一男
・嶋田 積男 ・大木 英憲
・植村 一 ・橋本 守行
・福田 幸平 ・岡田 裕
・荒井 覚 ・小林 英恵
・福田 洋一 ・大出 ハマ
・青木美智子 ・石島 政己

6月

定例会のあらまし

平成29年6月1日～6月22日

主な議案

平成29年第2回(6月)定例会は、6月1日(22日までの22日間の会期で開かれました。本定例会では、平成29年度一般会計補正予算案をはじめ、条例の一部改正案、財産の取得、人事案件などについて審議しました。6月1日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案14件、報告6件が上程され、提案理由の説明を受けた後、議案6件を即決しました。また、議員提出による市議会会議規則の一部改正案が提出され、全会一致で可決、さらに、角田良博議員に対する辞職勧告決議が提出され、これも全会一致で可決されました。

6月5日(8日は、3会派および11人の議員が市政に対して一般質問を行いました。8日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、6月12日(16日に各常任委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。6月22日には、各常任委員長報告が行われ、審議の結果、議案8件を可決、陳情2件を継続審査としました。その後、議会の役職改選を行い、それに伴う追加議案1件も上程され、これを可決し定例会を閉会しました(役職改選の結果については2ページをご覧ください)。

6月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆平成29年度小山市一般会計補正予算(第1号)―歳入歳出それぞれ2億4964万1000円の増額補正。主な歳出内訳は、本庁舎整備事業費、小山アスリート拠点施設整備事業費、旧小山市市民病院跡地活用事業費など。これにより、補正後の予算総額は、610億9964万1000円。

◆小山市防災会議条例の一部改正について―地域の防災に資する委員を加え、防災会議の所掌事務をより効果的に遂行するため、防災会議の委員

定数を増員することに伴い、条例の一部に所要の改正をするもの。

◆栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について―栃木県後期高齢者医療広域連合の議員定数を維持するため、市町ごとに議員数を規定するよう規約を変更することについて、地方自治法の規定により関係地方公共団体と協議を行うため、提出するもの。

◆建設工事請負契約の締結について―小山運動公園野球場ナイター設備工事の建設工事請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

小山市城山町3丁目 熊倉 仁一(再任)

昭和28年3月4日生

◆農業委員会委員の任命

小山市大字羽川 板子 博昭(再任)

昭和29年5月7日生

小山市大字網戸 稲葉 正治(新任)

昭和31年5月19日生

小山市大字卒島 岩瀬 豊(再任)

昭和23年9月16日生

小山市大字飯塚 小林 秀和(新任)

昭和50年8月26日生

小山市大字田間 上原 進(再任)

昭和30年3月9日生

小山市東城南2丁目 大塚 稔(再任)

昭和27年12月27日生

小山市大字塩沢 小野寺 俊昭(再任)

昭和26年12月9日生

小山市大字東黒田 黒須 豊(再任)

昭和26年4月4日生

小山市大字生駒 毛塚 博行(再任)

昭和25年3月8日生

小山市岩舟町新里 小久保 吉雄(新任)

昭和23年1月19日生

平成29年第2回定例会（6月）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
予 算			
議案第47号	平成29年度小山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
条 例			
議案第48号	小山市防災会議条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第49号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決	全会一致
議案第50号	栃木県南地方卸売市場に関する事務の受託について	原案可決	全会一致
議案第51号	財産の貸付けについて	原案可決	全会一致
議案第52号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第53号	小山市公共下水道扶桑水処理センター更新工事の業務委託に関する協定の締結について	原案可決	全会一致
議案第54号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第56号	農業委員会委員の任命について	原案同意	全会一致
議案第57号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
議案第58号	専決処分承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第59号	専決処分承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第60号	専決処分承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第61号	監査委員の選任について	原案同意	全会一致
議員提出議案			
議第3号	小山市議会会議規則の一部改正について	原案可決	全会一致
議第4号	角田良博議員に対する辞職勧告決議の提出について	原案可決	全会一致
陳 情			
陳情第29-1号	県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情	継続審査	全会一致
陳情第29-2号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情	継続審査	全会一致

- 小山市大字鉢形 末柄 淳（新任）
昭和39年2月28日生
- 小山市大字福良 須藤 正達（新任）
昭和29年2月25日生
- 小山市大字大木 田村 力（再任）
昭和30年11月22日生
- 小山市大字立木 野口 弘子（新任）
昭和29年7月24日生
- 小山市大字鏡 山中 哲（再任）
昭和19年11月10日生
- 小山市大字下国府塚 山野井登喜江（再任）
昭和24年11月15日生
- 小山市大字犬塚 山本 光康（新任）
昭和31年10月3日生
- 小山市大字粟宮 山本 幸男（再任）
昭和23年3月25日生
- 小山市大字延島新田 渡辺 忠（再任）
昭和22年12月1日生
- ◆人権擁護委員候補者の推薦
小山市天神町2丁目 福田 正好（再任）
昭和27年12月15日生

**監査委員に
山野井 孝議員**

議会最終日、議会選出の監査委員に山野井孝議員を選任することについて議案が提出され、議会はこれに同意しました。



陳 情

6月定例会では、新たに受理した陳情2件について審議しました。その結果、2件を継続審査としました（審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください）。

新たに受理したもの

陳情2件
●県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情
〔提出者〕
宇都宮市兵庫塚3丁目10-30 全栃木教職員組合 執行委員長 桑川 祥一
（趣旨）県立高等学校入学選抜で定員を満たすための再募

集実施を求める意見書を採択して、県教育委員会に提出してほしい。

▽審議結果 継続審査
●農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情

〔提出者〕

下野市下古山 2536・4

農民運動栃木県連合会

会長 高久 好一

〈趣旨〉 農業経営を下支える観点から、農業者戸別所得補償制度を復活させ、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求め、政府関係機関に意見書を提出してほしい。

▽審議結果 継続審査

議員提出議案

定例会初日、議会運営委員会から小山市議会会議規則の一部改正案が、また、小川亘議員ほか4名から角田良博議員に対する辞職勧告決議が提出されました。審議の結果、いずれも原案どおり可決しました。

◆小山市議会会議規則の一部改正

近年の男女共同参画の状況にかんがみ、本市議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進することを目的に、小山市議会会議規則中、会議および委員会の欠

席等の届出に関する規定に、配偶者の出産に伴う事項を明記するため、本規則を改正するもの。

◆角田良博議員に対する辞職勧告決議

市議会議員は、市民の負託を受けた市民の代表であり、その職責を自覚し、特に倫理観と法令遵守のもとで活動を行わなければならない。

平成27年8月31日付で、

4名の議員から小山市議会議員の政治倫理に関する条例の政治倫理基準に違反するとして審査請求のあった、県道拡幅工事における用地明け渡しの際、ならびに、女性職員に対するセクシャルハラスメント・パワーハラスメント疑惑の2件について、政治倫理審査会が設置され、角田良博議員に対して役職辞任および議員辞職をすべきとの審査報告がなされた。さらに、平成27年9月定例会をはじめとして、「角田良博議員に対する議員辞職勧告決議」が、過去7回も可決された。

もちろん議会において議員の身分に関する決議は軽々しく扱われるべきではないが、市政全体においても市民の信頼を失墜させるものであり、角田良博議員の責任は大きいものである。

よって角田良博議員は自らその責任を受け止め、速やかに

委員会審査から

議案等は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑等を紹介いたします。

総務



▼小山市防災会議条例の一部改正について

問 本条例の一部改正に伴い、増員となる委員について、どのような人たちを想定しているのか。

答 下館河川事務所長や栃木南部農業水利事務所長、新小山市市民病院院長など防災に資する知識や経験を持つ方のほか、市の部長など施策・活動の中心となる人々を想定しています。

▼建設工事請負契約の締結について

問 小山運動公園野球場ナイター設備設置後は、どの程度の大会まで開催できるのか。

答 ナイター設備については、バッテリー間が1000ルクス、内野が750ルクス、外野が500ルクスとして設計

に役職辞任はもちろんのこと、議員辞職をするよう勧告する。

しており、硬式野球の一般競技を開催することが可能な施設となります。また、BCリーグと協議した結果、今回設置するナイター施設の照度であれば、BCリーグの試合開催可能であるとお話をいただいています。

問 ナイター設備工事箇所周辺の園路の安全対策は。

答 ナイター設備の鉄柱の基礎部分で、一部遊歩道等にかかる部分がありますが、安全対策を徹底して、利用者に危険が及ばないよう工事を進めていきます。

問 消防団車両の今後の更新予定は。

答 市内の消防団車両は39台あり、予算の平準化を図るため、1年に2台の更新を計画しており、平成30年度から32年度まで、2台ずつの更新を予定しています。

民生



▼栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

問 今回の広域連合議会議員の定数の変更によって、影響を受ける構成市町はどこか。

答 今回の変更で影響を受けるのは鹿沼市で、現行規約のままでは、議員の数が1名となってしまうますが、規約の変更により2名の議員定数を維持することができます。

教育経済



▼栃木県南地方卸売市場に関する事務の受託について

問 県南市場が民営化された場合、現在の事務の内容がどのように変わるのか。

答 民営化された場合、事務組合が解散することにより、県南市場の議会もなくなります。また、施設の管理関係や借入金にかかわる償還業務に

ついでには、本市の農政課に職員を配置して、業務を行うことになりませんが、通常の市場の業務については、今後はすべて民営事業者が行うことになりません。なお、公設で市場を運営した場合と民間事業者が運営した場合の費用を比較すると、民間事業者が運営した場合のほうが、本市において約1000万円の負担軽減が見込めます。

問 小山市と2市2町との栃木県南地方卸売市場の事務の委託に関する規約において、第1条に規定する、小山市が受託しようとする事務の、土地や建物などにかかわる保存行為と改良行為の内容は。
答 保存行為については、施設や設備等のメンテナンスや定期点検等を指し、具体的には、駐車場の舗装のメンテナンス、排水設備の修繕などが想定されます。また、改良行為については、施設や設備等の性能や機能を高めるための改良を指し、具体的には、空調システムの改良や照明器具更新時のLED化などが想定されます。

教育経済(陳情)

▼県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情

意見 再募集については、茨城県をはじめ隣接県では実施しているが、本県では様々な問題があり、実施されていない。そのような中、県議会がどのような判断のもと、同趣旨の陳情を不採択としたのかについて調査が必要だと思ふ。また、再募集を実施している隣接県の状況や、県内の定員割れしている高等学校の現状などについて、さらに研究したうえで、結論を出すべきと考えるので、本陳情については継続審査とすべきである。
意見 入試制度は、その教育を受けるに足る能力や適性を図るものでもあると思うが、今回の陳情は、定員割れをして、定員を満たすための再募集と読み取れ、その点については違和感を覚える。
▼農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情
意見 特に土地利用型農業の経営者は高齢化が進み、現実的には後継者を育成しなくては、今後の国民の食糧は堅持

できないと思う。このような状況の中で、戸別所得補償制度の復活だけでは、土地利用型農業の現状を救えるかという疑問に思う。現在、国は農業委員会法改正や農協改革、収入保険制度の導入、土地改良法の改正など、様々な分野において、今後の農業のあり方について模索をしているところでもあり、本陳情については、それらを踏まえて、より慎重に審査をしていかななくてはならないと思ふ。

意見 現在の国の考えとしては、農地集積、大区画化により効率化を図ることを基本としているが、そのことにより農業経営が成り立っていくのかについても疑問がある。農業政策は非常に難しい問題であり、本陳情については、今回は継続審査とし、農業関係団体などと意見を交換し、そのうえで結論を出したほうがよいと思ふ。

建設水道



▼小山市公共下水道扶桑水処理センター更新工事の業務委託に関する協定の締結について
問 今回の更新工事で薬液ポ

ンプ施設を新設する目的は。
答 扶桑水処理センターは昭和59年度に供用開始をしましたが、下水道施設の設計基準が変わり、設計当初は1台の脱臭ファンで済んだものが、現在の基準では、リスク分散のために2台設置することになったため、既存の建屋に納まらなくなった薬液類を収納するための薬液ポンプ施設を新設するものです。

問 施設耐震補強工事も行われるが、この工事によって耐震強度はどの程度になるか。
答 扶桑水処理センターは地下部を土木構造物、地上部を建築構造物として昭和54年に事業着手しましたが、地上部については、昭和56年に施行された建築基準法の新耐震基準を満たしていないこと、また、地下部については、平成7年の阪神・淡路大震災後に改定された下水道施設の耐震対策指針を満たしていないことから、今回の耐震補強工事は、最新の耐震基準を適用し、震度7程度まで耐える事ができるようになります。

予算審査



▼平成29年度小山市一般会計

補正予算(第1号)
問 「地方創生拠点整備交付金」に関わる具体的な事業内容は。
答 小山運動公園のクラブハウスを合宿施設として改修します。具体的には、現在の事務室を5つの合宿室にして、シャワー室等を改修し、合宿に必要な施設を整備します。併せて、トレーニング室の整備も進めていきます。

問 小山アスリート拠点施設整備事業については、運営方法や利用料金等、今後の検討事項がいくつかあるが、検討の経過・結果等を議会に報告してほしい。また、稼働率を上げていくために、市外からの利用だけでなく、市内の小中学生の利用にも重点を置いていくべきだと思ふ。
答 今後内容を積み上げ、適宜、事業の進捗等を議会へ報告していきます。また、当事業は地方創生の一環で、市外から人を呼び込むものの流れを提案しているものですが、市内の小中学生の利用も大いに歓迎しています。様々な人達の利用により稼働率を上げていきたいと思ふ。

問 旧小山市民病院跡地活用事業の進捗は。

市政を問う

6月定例会市政一般質問

会派代表質問

(発言会派順に掲載、○印は会派代表質問を行った議員)

市政会

植村 一 鈴木 清三
○小林 英恵 橋本 守行
嶋田 積男 渡辺 一男

質問項目 ①本庁舎整備②口
プレビルリニユーアル構想③
ふるさと納税④間々田の奇祭
ジャガマイタ⑤栗宮新都心構
想⑥防災士の育成

問 本庁舎整備の今後のスケ
ジュールについて伺う。

市長 5月に株式会社久米設
計と整備計画策定に関する業
務委託を締結し、現在、本庁

答 今年4月から、北病棟お
よび検査棟の解体工事を進め
ています。今回の補正では、
今後実施する中病棟上屋の解
体工事費用として、1億円を
計上しました。併せて、中病
棟の地中には場所打ち杭とい
う特殊な杭が埋まっており、
この杭の処理に関わる工事設
計委託費として450万円を
計上しました。場所打ち杭の
処理については、処理費用確
定後、9月に補正予算として
計上する予定です。当事業は、
県の公募条件により2年以内
の病院開設となっているため
工期短縮に努めているところ
です。

舎や分散した庁舎の現状を把握するための調査・分析および、埋蔵文化財確認調査等の基礎調査を実施しています。この基礎調査の結果を踏まえ、新庁舎整備の基本的な考え方を示す基本構想、基本構想を具現化するための基本計画を策定してまいります。平成30年度に基本設計および実施設計、平成31年度から32年度の2カ年で建設工事を行い、平成32年度末までの建て替え整備を目指してまいります。

問 防災士の育成状況と今後
どのように増やしていくかにつ
いて伺う。

危機管理監 市在住の防災士
は、平成29年5月末現在で1

61名です。平成24年度から
資格取得に必要な費用を市が
負担することにより、平成28
年度までに合計64名が防災士
資格を取得しました。市とし
ては、各自主防災会の消火班
や避難誘導班等の班長以上に
防災士を配置できるよう、引
き続き効率的な育成に努める
とともに、災害に強い地域づ
くりを推進してまいります。今
年度も、市が経費を負担する
ことにより、15名の防災士資
格取得を計画しています。

市民派21

○石島 政己 山野井 孝
塚原 俊夫 青木美智子

質問項目 ①教育行政②市庁
舎建設③土地利用計画④民間
委託等推進計画⑤家屋解体に
おける廃材等の適正処理

問 絹義務教育学校の学童保
育施設の移設とふれあい事業
利用者をスクールバスで送迎
できないか。

市長 旧梁小学童保育館は、
学校までの距離が離れている
ことから、絹義務教育学校敷
地内で学童保育事業を行うこ
とを検討しています。また、
現在の学童保育館事業を終了
した場合の施設整備補助金の
考え方を県に確認するととも

に、新たな学童保育館を整備
する際の候補地について学校
側と協議しています。

教育部長 絹いきいきふれあ
い事業の利用者の送迎にスク
ールバスを利用する場合には、
財政負担の増大が見込まれま
すが、他の自治体におけるバ
スの多目的利用の状況につい
ても調査を行い、どのような
場合であればスクールバスの
利用ができるか、研究、検討
します。

問 家屋解体時の廃材等の適
正処理およびその土地の適正
管理に対する行政の指導、監
督規制をする条例等の整備を。

市民生活部長 市内のある太
陽光発電設備において、家
屋の廃材と伐採された屋敷材
の残材が敷地内に積まれてお
り、近隣住民は、崩落の危険
や害虫の発生等を心配してお
られます。このため、市は、
今後も同様のトラブルが発生
する場合は想定し、事業用太
陽光発電設備の設置に当たり
一定の規制や義務を課す必要
があると考えます。また、こ
れに限らず個人住宅の増改築
の際についても、同様の事例
の発生が想定されることから、
事業用太陽光発電設備の設置
にかかるガイドライン等の作

成や、既存の条例、規則等の
改正等により対処が可能とな
るよう精査します。

おやま創生会

○荻部 勉 土方 美代
高橋 栄

質問項目 ①公共施設整備②
事務事業評価③公共交通④火
災予防⑤小中学生の防犯対策

問 本庁舎建て替えの後の統
合した部署の職員、来客分を
含め、駐車場が不足すると思
うが、どのように考えている
か。

総合政策部長 本庁舎建て替
えにより分散している庁舎が
統合されれば、駐車場の不足
が予測されます。今後、整備
計画を策定する中で、停車場
の現況および利用状況等を把握
するとともに、市役所を利用
する方々の駐車台数が確保
できるように、最優先に検討
してまいります。

問 デマンドバスの予約時間
を短縮するためのシステムの
導入について、進捗や検討結
果はどうなっているのか。

都市整備部長 デマンドバス
専用システムは、予約をコン
ピューターで管理し、専用の
ソフトで運行ルートを計算す
るもので、効率的な運行をサ

ポートし、利用者の利便性も向上するものと考えますが、導入には多額の費用を必要とします。そのため、デマンドバスの稼働率を上げることが優先とされており、平成28年度で41%となっている稼働率が50%を超えた段階で、専用システムの導入について検討したいと考えています。

個人質問（発言順に掲載）

生井 貞夫 議員

質問項目 ①保健福祉行政②市の特色を生かした独自の教科として（仮称 遊水地科（ラムサール科）・細科を創設しては③ペットボトルのリサイクルから児童生徒の運動着をつくれぬか④日本遺産の認定

問 肝炎ウイルス検査受診率向上と陽性者のフォローアップについて、小山市の取り組みは。

市長 肝炎は、ウイルスに感染してもほとんど自覚症状がないため、気づかずに進行し、肝硬変や肝がんになるおそれがあります。そのため、早期発見、早期受診が重症化予防につながります。市では健康増進法に基づき、早期発見の

機会として、40歳以上の方に肝炎ウイルス検査を実施しており、40歳の方には節目検診として無料受診券を送付しています。さらに45歳から65歳までの5歳刻みの方で、市の肝炎ウイルス検診未受診者にも無料受診券を送付し、受診勧奨を行っています。また、広報等で市民に周知するとともに、肝炎検診単独の実施日を設定し、受診機会の拡大を図っています。検診結果が陽性となった方には精密検査の受診勧奨を行い、同時に県が実施している肝炎初回および定期精密検査費用の助成制度の紹介を行っています。この制度に同意した方には、申請窓口である県南健康福祉センターにつなぐことで、早期受診への支援を行っています。

石川 正雄 議員

質問項目 ①人事行政②外国における友好都市・姉妹都市

問 外国における友好都市、姉妹都市の現況報告について。

市民生活部長 ケアンズ市との交流については、平成18年5月に姉妹都市盟約に調印し、市から26訪問団、延べ547名を派遣し、43訪問団、延べ210名と国際交流員12名を

受け入れていきます。紹興市との交流については、平成21年10月に友好交流関係都市の協定を締結し、市から15訪問団、延べ161名を派遣し、20訪問団、延べ159名を受け入れていきます。本溪市との交流については、平成6年10月に友好交流都市の協定を締結し、小山市から12訪問団、167名を派遣し、22訪問団、158名を受け入れていきます。さらに、新たな交流として、今年5月に、小山市台湾高雄市友好訪問団を派遣しました。

青木 美智子 議員

質問項目 ①子どもと貧困②DV・児童虐待防止と被害者支援

問 子どもと貧困について。入学準備金等の就学援助金を7月支給から入学に間に合うように3月支給にできないか。

教育部長 新入学学用品費については、保健福祉部管轄の要保護児童・生徒に対しては生活保護費に含めて入学前に支給していますが、教育委員会管轄の準要保護児童・生徒に対しては入学後の7月に支給しています。市では、学校長、学校事務担当者、民生委員等で組織する検討委員会を

立ち上げ、前年度の3月に支給できるよう、前倒し支給について検討していきます。

荒川 美代子 議員

質問項目 ①教育行政②おやまコミュニケーションFM放送③ふるさと応援寄付金

問 「おやま英語教育のまちな子ども宣言」をしているなか、中学生の英語検定料の助成をすべきと思うが。

教育長 平成28年度における小山市の中学3年生の実用英語技能検定試験3級取得者とそれに相応の実力を有すると思われる生徒の割合は35%でした。今後も引き続き、英語力向上を目指し、英語検定試験等の外部試験の受験を推奨するとともに、多くの生徒が受験できるよう検定料の助成を含めた検討をしていきたいと考えています。

大出 ハマ 議員

質問項目 ①保健福祉行政②経済行政③通学路の除草

問 農業・農村男女共同参画の更なる農村女性への意識強化は。

産業観光部長 小山市では、平成24年度に策定した農業・農村男女共同参画推進ビジョ

ン第3期計画に基づき、農村における女性の地位向上と女性リーダーの育成に取り組んでいます。このような中、地域の女性リーダーを育成するため、女性農業者の農業技術経営技術向上のための研修会、講習会への参加を促すとともに、女性認定農業者や女性農業者の育成を図ったところ、平成28年度末には女性認定農業者が21名と徐々にふえており、さらに農業士は14名のうち半数、7名が女性農業士となりました。また、市内には農林水産省の生活改善普及事業により設立された農村における生活の合理化と社会的、経済的地位の向上を図ることを目的とした農村生活研究グループが4団体あり、その4団体で構成する小山市農村生活研究グループ協議会が設置され、活動しているところであります。小山市としては、農村女性が活躍している本協議会を農村女性の地位向上を図れるようさらに活躍する組織とするため、再編強化するなど、当協議会の充実を検討していきます。

安藤 良子 議員

質問項目 ①小山市民間委託

等推進計画②小山市地域医療推進基本計画③小山市英語教育

問 「自治医科大学新おやま市民病院地域医療教育支援センター」は、地域医療推進計画への寄与が大きい。継続支援の考えは。

保健福祉部長 自治医科大学新おやま市民病院地域医療教育支援センターは、地域で医療人を育成し地域に循環するシステムの構築を図る上で、重要な機関であると考えています。同センターの充実のため、今後も新小山市市民病院と連携し、継続した支援・協力をしていきたいと考えています。

岡田 裕 議員

質問項目 ①環境行政②教育行政③文化団体・サークルへの助成

問 中学校教員の主に運動部顧問の現状と今後の取り組み、特に、外部指導者の導入について。

教育長 部活動指導の負担軽減の必要性は認識しています。大学生のスクールサポート事業の部活動指導への活用や、県教育委員会の地域スポーツ指導者派遣事業の活用の周知

植村 一 議員

問 小山駅を中心としたまちなか観光の促進についての考え、及び、その主な取り組み状況について伺う。

産業観光部長 小山市は、渡良瀬遊水地、本場結城紬、小山評定を初めとする豊かな自然と文化と歴史を有しており、また、小山原産の市花オモイガワザクラを初め、多くの地域資源を生かしながら、各団体や地域の方々とともに観光誘客を推進しています。さらに、来年本番のデスティネーションキャンペーンを迎えるに当たり、体験型観光を組み合わせたツアーを企画、実施しており、小山駅を中心としたまちなか観光についても、おやま本場結城紬クラフト館

を初め、小山評定跡や祇園城跡など、ガイド付きまち歩きやシェアサイクルによる散策コースの確立に努め、あわせて、御殿広場を活用したおやま思川桜まつり、おやまサマーフエスティバル、小山きもの日での着心地体験などを生かした観光誘客を推進します。

嶋田 積男 議員

質問項目 ①市民生活行政②消防行政③教育行政

問 災害現場での情報共有のため、トランシーバーの配備は必要不可欠と考えるが、配備計画について伺う。

消防長 トランシーバー年度配備計画については、団長、副団長、本部員、分団長および副分団長にそれぞれ1台ずつ、車両1台につき3台ずつの計164台を本年度から3力年で配備する計画となっております。本年度は57台を10月末までに配備していく計画です。

佐藤 忠博 議員

質問項目 ①消防行政②総務行政

問 独居高齢者宅等の火災予防のため、防火点検を実施すべきと思うが。

消防長 独居高齢者宅の火災は、小山市消防管内において過去10年間で12件発生し、うち全焼火災9件、死者3名となっております。防火点検については、春と秋の全国火災予防運動期間に、防火チラシの配布や火災予防相談を行なっています。平成28年秋には、独居高齢者宅590件を訪問し、防火診断チェック表を活用した聞き取りによる防火診断を行いました。今年の秋からは防火診断に加え、訪問した住宅の承諾を得た場合、火災原因となる火気器具の適正な使用や管理状況等を消防職員が確認する防火点検を実施します。

渡邊 一郎 議員

質問項目 ①医療費の抑制と健康寿命の延伸②ふるさと納税③プレミアムフライデーの取り組み④道路整備⑤間々田のジャガマイタ

問 医療費の抑制と健康寿命の延伸のための、糖尿病の重症化予防対策について伺う。

市長 本年1月から重症化する危険性の高い方を対象に、かかりつけ医の指示書により6か月間の保健師、管理栄養士等による訪問指導を開始し

議会日誌

ました。また、慢性腎臓病(CKD)予防啓発講演会とセミナーも実施し、受講者は健診検査で改善が見られています。さらに、フオローアップセミナーの実施や自主グループそらまめの会も結成され、活動しています。今後も対象者に合わせたきめ細やかな個別訪問指導等を効果的に実施し、対策に取り組みます。

〔5月〕

- ▽1日 教育経済常任委員会現地調査
▽2日 執行部との定例懇談会

〔6月〕

- ▽9日 議員説明会
▽11日 議会運営委員会
▽24日 全国市議会議長会第93回定期総会
▽26日 議会運営委員会／議会報告会運営委員会／旧市民病院施設活用等検討特別委員会
▽1日 議会広報委員会
▽6日 会派代表者会議
▽8日 議員説明会
▽12日 民生常任委員会／民生常任委員会協議会

視察来訪

- ▽13日 教育経済常任委員会
建設水道常任委員会
総務常任委員会／議
会棟整備に関する調
査検討会議
- ▽14日 予算審査常任委員会
／小山駅周辺都市整
備対策特別委員会
議員全員協議会／会
派代表者会議
- ▽15日 議会棟整備に関する
調査検討会議
- ▽16日 公共施設等整備調査
特別委員会
- ▽22日 議員説明会／議会報
告会運営委員会
- ▽27日 議会棟整備に関する
調査検討会議
- ▽29日 議会棟整備に関する
調査検討会議視察
（北本市、佐野市）
- ▽7日 議会棟整備に関する
調査検討会議視察
（北本市、佐野市）
- ▽5日 議会棟整備に関する
調査検討会議
- ▽14日 栃木県市議会議長
会・研修会
- ▽16日 野木町（栃木県） 1
名Ⅱ第2犬塚踏切歩
道整備事業、飯田踏
切歩道整備事業

議員在職
10年表彰



福田 洋一議員

5月に開かれた第93回全国
市議会議長会定期総会の席上、
次の議員が表彰されました。

表彰

- ▽18日 指宿市（鹿児島県）
7名Ⅱ子どもの貧困
対策、キッズランド
おやま
- ▽22日 亀岡市（京都府） 8
名Ⅱ子どもの貧困対
策（赤穂市（兵庫県） 6
名Ⅱスポーツ都市宣
言）
- ▽23日 始良市（鹿児島県）
8名Ⅱ子どもの貧困
対策、保育士確保事
業
- ▽14日 大船渡市（岩手県）
7名Ⅱ子どもの貧困
対策

次回定例会の予定

9月 4日(月)	本会議(開会・議案上程)
9月 6日(水)	本会議(一般質問)
9月 7日(木)	本会議(一般質問)
9月 8日(金)	本会議(一般質問)
9月11日(月)	本会議(一般質問・付託)
9月13日(水)	委員会
9月14日(木)	委員会
9月15日(金)	委員会
9月19日(火)	委員会
9月20日(水)	委員会
9月28日(木)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成29年第2回定例会の傍聴者数
6月定例会の傍聴者数は83人でした。

{ 6月1日=2人・5日=23人・6日=41人
7日=9人・8日=4人・12日=1人
13日=1人・16日=1人・22日=1人 }

暑中お見舞い
申し上げます

申し上げます



- 議長 小川 小川 小川 小川 小川 小川 小川 小川 小川 小川
副議長 荒川 荒川 荒川 荒川 荒川 荒川 荒川 荒川 荒川 荒川
高橋 渡辺 渡辺 渡辺 渡辺 渡辺 渡辺 渡辺 渡辺 渡辺
大木 英憲 植村 植村 植村 植村 植村 植村 植村 植村
岡田 裕 荒井 荒井 荒井 荒井 荒井 荒井 荒井 荒井
福田 洋一 鈴木 清三 角田 良博 石島 政己
山野井 孝 青木 美智子 関 良平 石川 正雄
塚原 俊夫 生井 貞夫 角田 良博 石島 政己

小山市議会は公職選挙法の遵守はもとより、議員本来の
使命に専心するため、初盆のご挨拶ならびに暑中お見舞い
のご挨拶は自粛しています。
市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

小山市議会議員一同



このたび
各種委員の
再編により、
私たち6名
が新たに広報委員に選出
されました。「市議会だ
より」は、昭和37年の創
刊以来55年にわたり、市
民の皆様が議会の活動を
伝えてきました。この間
議会の動きや審議の状況
などをわかりやすく伝え
ようと、紙面の充実を圖
ってきたところです。こ
れからも市民の皆様の目
線に立ち、議会を身近に
感じて頂ける様な広報紙
づくりに努めて参ります
ので、よろしくお願ひ致
します。

(議会広報委員一同)

小山市ホームページ <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>